

一、初核園体日記

二十日午向午多品路向文即引田中由大甲外生各
白塔車三午來接 即日引揚の多引又同日午向中野
去即鳩谷出張所伊藤常三申の清地三橋の向車
三午運搬卸降園の常品

一、倉水地、一、橋家

引橋千休業の経行の強硬の態勢を察し
居り

一、近橋町我民の行部

二場町倉地横曾根村長飯塚新造 即従遠山
輝男及同村信甲信倉長 遠山雄太申 打倉

藤久遠山古七 四念二十一日二場町打倉

松本工場の長並松山村即長一計今之予 近橋

一、藤久一地之村民一連取物 カラカ知休連ニ解決

案の藤久レハント陳情之更ニ事の上更ニ

古北之村ニ直接是之申下 解決促進 二日助入

居り

節 耳

非常の事なりノ所極名幹即致不慮心中
念途之系ヲ抱テ此以下他幹即等ノ
徳主姑息ナリト不憚ニ決シテ後園意見ノ
統一ヲ欠ケラス